



第2回  
定例会

# 国の経済対策を盛り込んだ

# 一般会計補正予算などを可決



再開発が進む東岸和田駅周辺



その後、各常任委員会で付託議案を審査した後、本会議で各常任委員長から審査結果の報告を受け、いずれも満場一致で可決しました。

最後に、文教民生常任委員会・議会運営委員会の特定事件については、閉会中も継続調査することと決定し、26日閉会しました。

続いて、市長から岸和田市一般会計補正予算などの議案が提案され、理由説明の後、それぞれ関係する常任委員会にその審査を付託しました。

その後行われた一般質問では、7人の議員が市政全般について理事者の見解をたずねました。(2面・3面に発言順に掲載)

19日、23日に開かれた各常任委員会では、事務概要の報告を受けた後、付託議案の審査を行いました。

24日に開かれた福祉センター特別委員会では、特定

事件について調査終了の提案があり、全委員一致で了承しました。(3面「福祉センター」建替え特別委員会の調査終了)参照

25日の本会議では、委員会で審査した議案について、各常任委員長から審査結果の報告を受け、いずれも満場一致で可決しました。

また、福祉センター特別委員長から特定事件の調査終了の報告があり、全会一致で了承しました。

続いて、緊急の経済危機対策などを盛り込んだ一般会計補正予算などの議案が追加上程されたことにより、会期を26日まで延長しました。

第2回臨時会は、5月28日に開会し、市長から6月に支給する特別職の期末手当と一般職の期末・勤勉手当を〇・一カ月分削減する条例案が提案されました。

原案に対し、本市では、すでに行財政再生プランに沿って独自で〇・二五カ月分削減を実施していること

からこれ以上の削減は生活破壊につながるため反対とする討論があった後、起立表決を行った結果、賛成多数で原案を可決しました。

続いて、議員から特別職と同様に議員の期末手当を〇・一カ月分削減する条例案を提案し、原案のとおり可決しました。

臨時の人事院勧告を受け、議員、特別職、一般職員のボーナスを削減

## 第1回 臨時 議会

### 議長に森隆議員 副議長に池田啓子議員を選出

5月14日、15日の両日に、処分などの報告が行われ、また、わたり開かれた第1回臨時議会では、まず、監査や専決

その後、正副議長の選挙を行い、議長に森隆議員、副議長に池田啓子議員を選出しました。

続いて、議会運営委員および総務、文教民生、事業の各常任委員の選任を行い、監査委員の選任に同意しました。また、大阪府都市競艇組合や岸和田市貝塚市清掃施設組合などの各組合議会議員を選出しました。(3面に名簿掲載)

第1回臨時会では、議長・副議長の選挙や常任委員・議会運営委員の選任などを行いました。

第2回臨時会では、特別職や一般職、議員の期末手当などを削減する議案が市長、議員からそれぞれ提案され、原案のとおり可決しました。

第2回定例会では、継続審査となっていた、ごみの有料指定袋制などの議案を可決しました。また、9件の議案が市長から提案され、原案のとおり可決しました。一般質問では、7人の議員が市政全般にわたり理事者の見解をたずねました。

## 第2回 定例会

### 危機管理、行財政運営など 7人から一般質問

第2回定例会は、6月16日に本会議を開会し、まず会期を25日までの10日間とした後、監査や土地開発公社などの経営状況の報告を受けました。